

授業科目名	臨床医学各論Ⅱ	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	加藤 雅典	単位	2	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

「健全な精神は健全な肉体に宿る」、また「芸術は心身の良好な状態を作ることに役立つ」と云われているが、健全な精神あるいは身体とは、どのような状態を云うのか。具体的な疾患の原因、病態および治療を学ぶことにより、心身の構造の脆弱性および強靱性を理解する。それにより、人生の価値あるいは人に与える芸術の意義を高めることが可能となる。かつ音楽療法士をめざす学生が必要とする医学的知識を習得することが出来る。

＝履修の条件と学習の方法＝

高校で生物を履修していることが望ましい。資料の予備は保管しません。出席者同士でコピーすること。授業中の飲食は禁止します。本講義では講師が準備した講義ノートをもとに病気の原因、病態および治療について、専門用語の解説を加えて説明する。個々の疾患の概念を理解できるよう、学生に罹病体験があればその時の症例を説明を行ってもらおう。

＝授業の概要＝

下記の授業計画に沿って、日常よくみられる疾患の概要を治療法を含めて説明する。それにより、最新医学の現状と問題点について議論する。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 解剖生理学：からだのしくみとはたらき
- 3回 病理学：病気のなりたち
- 4回 動脈硬化症、高血圧、心臓の病気
- 5回 代謝性疾患：脂質異常症、糖尿病
- 6回 食道および胃の病気
- 7回 小腸および大腸の病気
- 8回 肝臓、胆のうおよび膵臓の病気
- 9回 気管支および肺の病気
- 10回 乳腺の病気
- 11回 外傷について
- 12回 骨と関節の病気
- 13回 エイズおよび皮膚の病気
- 13回 話題の疾患
- 14回 総復習および症例検討（1）
- 15回 総復習および症例検討（2）
- 16回 期末試験

＝テキスト（必携）＝

《No.1》

書籍名：病気の地図帳

著者名：山口和克

出版社：講談社

=参考書・参考資料（必携）=

=成績評価の方法と評価の基準=

- ・学期末の筆記試験（評価の 80%）および授業への参加姿勢（評価の 20%）
- ・択一式、記入式、記述式試験
- ・専門用語が正しく理解できているか（50%）
- ・疾患の概略が正しく説明できているか（30%）
- ・疾患の予後および最新の治療法を知っているか（20%）

=その他=

携帯端末使用禁止